



中学校	外国語	全学年
-----	-----	-----

「やり取りの能力」向上のために



☆Sandwich Talk…



1つの授業を2つの会話活動ではさむこと!

その2つとは

①**Small Talk**…毎授業の冒頭に帯活動で行う会話活動。会話の話題は事前に決めず、教師と生徒とのやり取りの中から決める! 台本などではなく、即興で、生徒同士が「雑談」感覚で行う! 例えば…

生徒

教師

②I'm hungry!!

①How are you?

③次は給食だ。
みんなどのメニューが好きなのかな?

④What school lunch do you like?

②**Theme Talk**…毎授業の終盤に行う会話活動。会話の話題は事前に決め、その単元で指導している文法事項を使うような話題にする! それ以外はSmall Talkと同じ! 例えば…

①この単元は過去形だ…
どんな話題がいいかな。

②What did you do yesterday?

☆授業の流れ

時間	学習活動
10分	Small Talk
30分	文法導入・教科書理解など
10分	Theme Talk

時間	具体的な活動
1～2分	①教師と生徒の雑談
2～3分	②教師と生徒の会話（見本となる）
1～2分	③生徒同士の会話
1～2分	④中間指導
1～2分	⑤ペアを変えて同じ話題で会話

*①の雑談の中から話題を決めます

時間	具体的な活動
2～3分	①教師と生徒の会話（見本となる）
1～2分	②生徒同士の会話
1～2分	③中間指導
1～2分	④ペアを変えて同じ話題で会話

*その単元で指導している文法事項を
使うような話題を事前に決めておきます

☆大事なポイント

(1) 中間指導が大切！

2つの会話活動では中間指導が大切になります。「やりっぱなし」にならないように、良かった表現やよく見られた間違い、生徒が言いたかったけれど、言えなかった表現などを全体で共有しましょう。生徒の「これが言いたい」という気持ちを大切にしましょう！

(2) 会話を発展・継続させる表現の指導を！

「やり取り」を続けるにはあいづち、会話の広げ方等の便利な表現を指導することも大切です。文部科学省の「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」に例が載っています！

(3) その他

- ・文法導入、教科書理解等は先生方が普段行っている活動をしてください！
- ・ただやり取りの時間を増やすだけではなく、上記(1)と(2)の、2つのポイントを意識して取り組んでください。継続的にSandwich Talkを行うことで、生徒たちは少しずつ表現の幅を広げていきます。生徒たちの成長を先生も楽しみながら取り組んでほしいです！
- ・原稿や事前準備がなくても生徒はやり取りできるようになります！生徒を信じましょう！

☆研究結果（生徒の変容）

・発話回数の平均 →

事前	事後
2.79回	5.69回

平均約3回アップ！

UP

生徒へのアンケート結果

Q 自分の言いたいことを英語で話すことができると思う。

事前 そう思う	事後 そう思う
29.5%	61.7%

32.2%

UP

Q 英会話で、感想を言ったり、質問をしたりしてできるだけ長くやり取りを続けることができると思う。

事前 そう思う	事後 そう思う
13.2%	50.0%

36.8%

UP

Q プリントや先生の力を借りずに、その場ですぐに、学校で習った英語を使ってやり取りができると思う。

事前 そう思う	事後 そう思う
19.1%	54.4%

35.3%

UP

詳細は、総合教育センターWebサイト 長期研究員 研究報告(R6)をご覧ください。